

# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020/01/23 ~2021/02/04)

## 1. 勉学の状況

私が留学しているのは、韓国のソウル特別市にある成均館大学です。所属している学部は Department of Media & Communication で、メディアが発信した情報が私たちの社会にどのような影響を与えているのかということについて学ぶことができます。隔離期間などの関係で、学期が始まる 1 カ月前の渡航となり、千葉大学での第 5 タームの途中からの留学となったため、今月は千葉大学での授業を受けながら、成均館大学ではどのような授業をとろうか決めていくという期間となりました。

2 月 4 日に履修登録があったのですが、韓国での履修登録は完全に先着順で、授業がすぐに埋まってしまう争奪戦だと聞いていたので、私も開始時間より前からずっと準備して、登録ボタンを押す練習までしていたのですが、結果、とりたかった 6 つの授業のうち 4 つしか登録することができませんでした。想像以上に秒単位の戦いで、韓国の学生の勉強への意欲の高さに驚きました。一番取りたいと思っていた 2 つの授業がとれなかったため、教授に直接メールでお願いしてみたところ、1 つは受講を許可していただけるとのことで、無事とりたかった授業を受講することができることになりました。もう 1 つに関しては、まだ教授から返信が来ていない状態なのですが、最終的に履修が決定するのは 26 日なので、それまで気長に待ちたいと思います。

私が受講する予定の授業は以下の 6 つです。

- ・ Basic Korean (Offline)
- ・ Modern Social Psychology (Offline) (仮)
- ・ Introduction to Media Psychology (Pre-Produced + Real Time Streaming)
- ・ Principles of Digital Public Relations (Pre-Produced + Real Time Streaming)
- ・ News and Media Literacy (Pre-Produced)
- ・ Korean Cinema in the World (Pre-Produced)

成均館大学では、今学期は授業によって、実際に学校で受講するか、オンラインで受講するかが決まっており、できるだけオフラインの授業をとりたかったのですが、私がとりたい授業はオンラインでの開講が多かったため、2 つの授業のみ学校で受けることになりました。オフラインとは言っているものの、最初の 2 週間はすべての授業がオンラインで開講され、コロナの状況を見ながらオフライン体制に変えていくそうです。約 1 年ぶりに通学できる日がとても待ち遠しいです。学校が始まるまで約 2 週間あるので、自習学習をして、授業に備え、万全の態勢で授業に臨みたいです。

## 2. 生活の状況

今回、コロナ禍での留学ということで、ぎりぎりまで本当に渡航できるかわからないという不安のなか準備を進めてきました。実際に、こうして渡航を許可していただき、派遣留学を実現することができていることを本当に嬉しく思います。留学をサポートしてくださった先生方、留学生課の方々、友人や家族に心から感謝しています。

韓国では、コロナ禍の渡航に関する対策が万全に行われており、韓国語が分からなくても手続きをスムーズに行うことができるよう、外国人に対する配慮もなされていました。通常の入国審査に加え、PCR 検査の陰性証明書の提示や自己隔離用のアプリのインストール、入国者専用の交通機関の利用などが求められました。アプリでは、1日3回体温や体の状態を入力し、GPS 機能を使って、入国者が自主隔離施設から動いていないかどうか確認されます。それに加え、毎日15時ごろに Healthcare Center からモニタリングの電話が来て、日本人通訳を介して、体の状態などを確認されます。また、PCR 検査については、入国後、隔離期間終了前日、学校開始前の3回行う必要があり、すべて無料で行うことができます。このように、コロナ対策が徹底されているため、入国者として責任を持った行動をとらなければいけないという意識を常に持ちながら過ごしております。

隔離用の寮は、もともと2人で使う部屋を1人で使うことができるため、とても広く、快適に過ごすことができます。Wi-Fi や暖房などの設備も整っており、1日3食提供されるうえに、部屋に大量のお菓子や飲み物も用意されていて、何不自由なく生活できる環境です。韓国はトイレとシャワーが同じところが多いと聞いていたのですが、寮ではバス・トイレ別だったので、ストレスなく利用することができます。過ごしていくうちに、自分の中でルーティーンができて、運動や勉強をしつつ、規則正しく生活しています。2週間部屋から出られないので、いつも窓から外を眺めて韓国を感じています。早く外に出て、韓国の街並みを歩いたり、他の学生と交流したりしたいです。

# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/02/05 ~2021/04/04)

## 1. 勉学の状況

現在私が受講している授業は 6 つです。受講している授業は、韓国語の授業以外はすべて英語で開講されています。前回の報告書で教授からの返事待ちだった授業は、結局受講することができず、代わりに"Consumer Behavior and Brand Marketing"という授業をとることにしました。また、履修登録していた"Basic Korean"は易しすぎたため、登録を取り消し、代わりに"Intermediate Korean"という 1 つ上のクラスを聴講することにしました。成均館大学では、大学内の授業は学科の枠を超えて受講することが可能なので、ほかの学部のメディア関連の授業を受講することができ、さまざまな視点からメディアや人々の心理について学ぶことがとても楽しいです。

授業のスタイルは、2 つの授業が Zoom を使った同時双方向型、3 つはオンデマンド型、そして韓国語の授業がオフラインの 3 形態です。Zoom を使った授業では、毎回ブレイクアウトルームを使って少人数でディスカッションをし、グループで意見をまとめ、アイデアを Learning X (千葉大での Moodle) に提出するという形で授業を進めていきます。また、授業の前に事前にアップロードされた動画を視聴し、それをふまえた上で Zoom の授業に参加するという Flipped Learning 形式をとっているため、インプットしたことをすぐにアウトプットできて、勉強したことが身についていることを実感することができます。しかし、オンデマンドの授業はディスカッションもなく、ただ動画を視聴するだけなので、物足りなく感じてしまいます。課題もないため、中間試験や期末試験の配点が高く、試験期間が少し怖いです。韓国語の授業は、オフラインとオンラインを選べるのですが、私はオフラインを選び、学校で授業を受けています。授業中はすべて韓国語で少し難易度が高いですが、先生がとても分かりやすく教えてくれるため、何とかついていくことができます。授業を変更して本当に良かったと思います。

成均館大学での生活も残り半分となってしまいました。2 週間後には中間試験の期間に突入します。しかし、今学期は大体がオンラインでの授業なので、韓国語の授業以外は試験の代わりにレポートを提出することになっています。レポートとはいえ、成績の配点は高いので、しっかり計画を立てて取り組んでいきたいです。

## 2. 生活の状況

韓国に来て 2 か月がたち、だいぶこちらでの生活にも慣れてきました。3 月にはルームメイトもきて、毎日充実した生活を送ることができています。ルームメイトは日本人で 1 つ年上なのですが、韓国では同じ歳なので、お互い気軽に接することができ、出会って 1 カ月とは思えないほど仲が良くなりました。成均館大学は韓国でも珍しく日本人がほとんどいないので、ルームメイトの存在はとても心強いです。また、彼女は韓国語で授業を受講する

留学にきているため、韓国語が堪能なので、日常生活では彼女の韓国語にかなり助けられていてありがたいです。

こちらに来たばかりのころは冬真ただ中でとても寒い日が続いていましたが、最近はどうも暖かくなってきて春を感じます。学校が始まったのは2月22日だったので、それまでの期間は留学生の友達と色々な観光地を巡りました。韓国では、現在、社会的距離の確保が第2段階とされており、5人以上での私的な集まりや22時以降の営業が禁止されています。そのため、この規則に従いながら、ソウルを出るような遠出は避けつつ、ソウル内の観光地巡りを楽しみました。学校が始まってからは、なかなか観光をすることは難しいですが、市場に行ったり、韓国料理を食べたりと、韓国の日常生活を楽しむことができます。食べた中で一番おいしかった韓国料理は、広蔵市場で食べたユッケサンナクチというユッケと生きているタコを一緒に食べるという料理です。見た目はタコが動いていて少し気持ち悪いですが、口に入れるとおとなしくなり、とても美味しかったです。千葉大学の先生がおすすめしてくださったスンデグクという、豚の腸に具材を入れ血で固めたスンデというものが入ったスープもとても美味しかったです。最近では日本でも韓国料理が簡単に食べられるようになってきましたが、このようなローカルフードはまだ日本ではあまり見かけないので、この機会にたくさん堪能したいなと思いました。

生活は充実して不満はないのですが、コロナ禍ということもあり、交友関係を広げることが難しく、一番大きな悩みです。寮内でも5人以上集まることや共用キッチンで一緒に食事をするのは禁止されており、留学生同士での交流をするためのオリエンテーションなども中止になってしまったため、現地の学生だけでなく、留学生との交流もあまりできない状況にあります。ルームメイトは大体同じ国の人になるように構成されているため、留学しに来ているにもかかわらず、同じ国の子たちで固まることが多く、交友関係が固定化される傾向にあるのが少し残念です。幸いにも、同じ韓国語の授業を受講している友達ができただので、その子達の友達を紹介してもらい何とか交友関係を広げるよう心がけています。

時間が経つのは本当に早く、あっという間に留学期間も残り2カ月となってしまいました。後悔することがないよう、一日一日を大事に過ごしていきたいです。

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/04/05 ～2021/06/06)

### 1. 勉学の状況

4月に入ってからは、千葉大学での1タームも始まったため、成均館大学の授業を受けつつ、千葉大学の授業も受けるという形になりました。千葉大学での授業のうち、1つは対面授業だったのですが、先生やクラスメイトの協力のおかげで、私だけオンラインで参加することができました。また、5月の下旬は、成均館大学での学期末と千葉大学でのターム末がかぶってしまい、最終課題やテスト勉強に追われ、留学生活の中で一番大変でしたが、なんとか乗り越えることができました。

成均館大学では、5つの授業を受講していたのですが、それぞれの最終課題は、個人プレゼン、グループプレゼン、テストという3つの種類があり、すべてオンライン上で行われました。授業内容とともに、最終課題について、紹介したいと思います。

#### ・ Principles of Digital Public Relations

この授業では、メディアを使ったPR方法やマーケティングについて学びました。授業はZOOMで行われ、講義を聞いたり、グループディスカッションをしたりしました。最終課題では、4人のグループで既存の企業のCSA・CSR活動を考案して、それをプロモーションするにはどのような方法が有効かということを考え、プレゼンテーションをしました。グループのみんなで何度もZOOMでの話し合いを重ね、最終的に納得のいくプレゼンをすることができました。クラスメイトや教授からも評価してもらい、とても嬉しかったです。直接クラスの人に会うことはできなかったのはとても残念ですが、みんな積極的に発言し、アットホームな雰囲気の授業で、一番好きな授業でした。

#### ・ Introduction to Media Psychology

この授業では、メディアが人々にどのような心理的影響を与えるのかということを知りました。私がこの留学で一番学びたかった授業なので、履修できて本当に良かったです。ZOOMで授業が行われ、毎回ブレイクアウトルームに分かれてディスカッションをしました。最終課題は、メディアコンテンツ(映画、ドラマ、YouTubeなど)を1つ選び、それがなぜ面白いのか授業で学んだ理論を使いながら分析し、レポートを書き、授業でプレゼンテーションをするというものでした。普段見ているメディアにさまざまな心理効果が応用されているということを知れて、とても興味深かったです。

#### ・ News and Media Literacy

この授業は、メディアと付き合っていくうえで身につける必要があるリテラシーやメディア表象について学びました。授業は、事前に収録された講義動画をみながら学習を進めていく形でした。最終課題は、オンライン上のテストで、決められた時間内に解いた問題を提出するというものでした。ほかのテストとは違い、1週間のうち自分の都合の良い時にテストを受けることができたので、余裕をもってテストに臨むことができました。

#### ・ Korean Cinema in the World

この授業は、韓国映画を実際に鑑賞し、先生が解説していくという授業でした。最近の韓国映画しか見たことがなかったので、韓国の映画史を学ぶことができ、とても興味深かったです。最終課題はテストで、今まで授業で出てきた 100 個近い映画の監督や俳優、制作会社などに関する○×問題でした。テスト勉強はかなりきつかったのですが、内容が面白かったので、苦ではありませんでした。手ごたえはあったので、成績が出るのが少し楽しみです。

#### ・ Consumer Behavior and Brand Marketing

この授業は、正しい消費者になるために、企業が使っているさまざまな戦略を把握することを目標とするものでした。他の授業では、企業目線で商品をアピールするための方法を学んでいたのですが、この授業を受けることで多角的な視点を鍛えられたと思います。最終課題は、WebEx を使ったオンラインテストでした。WebEx を使ったのは、この時が初めてで、使い方が分からずとても焦りました。テストも受けている授業の中で一番難しかったので、結果が出るのが不安です。

以上が受講していた授業の説明です。オンラインでのテストやプレゼンは初めてだったので、慣れないことも多く不安だったのですが、無事終わることができました。あとは、成績が届くのを待ち、単位互換がしっかりできるように、手続きを行っていきたいです。

## 2. 生活の状況

4 月下旬から 5 月上旬にかけて韓国でのコロナの状況が悪化してしまい、2 週間学校に立ち入り禁止となりました。今まで 400 人前後だった新規感染者数が 700 人程になってしまい、みな感染防止に対して、少し敏感になっていたと思います。大学でも、毎日のように大学内の感染者の報告と感染者が学校でどの施設をいつ利用したかという記録が送られてきて、とても不安になりました。ピーク時を超えると、だんだん状況が落ち着いてきて、国内の新規感染者数も 500 人前後になり、学校にも再び入ることができるようになりました。私は韓国語の授業のために週に 1 度学校に行っていたのですが、学内の食堂や図書館など、人が多く集まる場所は意識的に避けるよう心がけました。留学が終わるころには状況が改善されているかと期待していたのですが、あまり状況は変わらず、旅行や観光などもあまりできなかったのが少し残念でした。

5 月は本当にあっという間にすぎ、ついに帰国準備にとりかかりました。学期末と重なってしまったこともあり、5 月末はテスト勉強と準備のどちらにも取り組まなければいけなかったのですが、とても大変でした。帰国するにあたり、72 時間以内の PCR 検査結果が必要だったのですが、情報が少なく、病院探しにてこずりました。過去 3 回受けた保健所では、証明書の発行をしていないということで、成均館大学の留学生課にどこで受ければよいか問い合わせたところ、学校の 1 番近くの大学病院だと検査料がとても高いので、地域の病院に直接問い合わせたほうが良いと言われ、寮に近い病院をいくつか調べましたが、料金も書いておらず、予約方法もよくわかりませんでした。そこで、SNS などで調べたところ、最近帰国した人の情報を見つけ、寮の近くで安く受けられるところを見つけたので、そこで検

査を受けました。帰国日当日に問題なく手続きを終えることができるように、帰国に必要な書類を全部ファイルにまとめ、入国に必要なアプリの設定も事前に終え、成田空港に着いてからの流れも YouTube などを見て何度もイメージトレーニングしました。飛行機も一番出口に近い席をとっていたので、1 番早く検査を終えることができ、手続きもスムーズに行うことができました。それでも飛行機を降りてから 2 時間以上はかかったので、事前に準備をしていて本当に良かったと思います。無事空港での検査も陰性との診断を受け、現在は 2 週間の自己隔離中です。この隔離期間中に、留学で学んだことを振り返ったり、これからこの経験を生かして今後の学びにどのように繋げていくかじっくり考えたりしたいと思います。

このような状況下で、留学を無事終えることができたのは、自分の行きたいという強い意志だけでなく、たくさんの方の支えがあったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私の留学に関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。この感謝の気持ちを忘れずに、今回の留学で得た学びを生かし、今後の自己成長に繋げていきたいです。